

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	1					作成者	清水 景子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	福祉有償運送の必要性、旅客から收受する対価その他福祉有償運送の適切な運営を図る。	主たる内容	協議会を開催し、当該地域内の輸送の現状に照らして、タクシー等の公共交通機関だけでは移動制約者に係る十分な輸送サービスの確保がなされておらず、NPO等の輸送が必要であること及びその際の条件等が適切なものか否かを検討する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱					
		対象者	協議会委員	事業期間	平成17年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		開催数：1回 開催日：11月6日		開催数：1回 開催日：1月25日		開催数：1回 開催日：11月7日		開催数：1回 開催日：11月13日（予定）	
成果 (できたこと)		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPO等による自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		運営協議会開催数（回）		1	1	1	1	1	
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳	
	事業費 ①		70	70	64	141	合計	64,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	64,000 円	
		一般財源	70	70	64	141			
	職員人件費 ②		0	72	72	1,498			
	総事業費（①+②）		70	142	136	1,639			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	清水 景子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	定年退職者等に対する就業機会の確保をはじめとした、高齡者能力活用事業の推進を図る。			主たる内容	市内在住のおおむね60歳以上の健康で働くこと・仕事をすることに意欲のある人に対し、希望に応じた臨時的かつ短期的な就業の確保を行い、生きがい活動を推進するための中核機関である刈谷市シルバー人材センターに補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第46条						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和54年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		会員数：479人		会員数：479人		会員数：436人		会員数：436人（見込み）	
成果 (できたこと)		定年退職者等に対する就業機会の確保をはじめとした、高齡者能力活用推進事業の推進を図ることができた。また、刈谷市シルバー人材センターは、従来以上に地域社会からの幅広い理解と協力が期待できる公益認定を受け、平成24年度より公益社団法人となった。							
課題 (できなかったこと)		経済情勢の変化にともない、企業からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		シルバー人材センター会員数（人）			479	479	436	436	—
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳	
	事業費①		34,167	32,868	26,536	34,997	合計 26,535,837 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 26,535,837 円		
		一般財源	34,167	32,868	26,536	34,997			
	職員人件費②		0	732	1,436	1,124			
	総事業費（①+②）		34,167	33,600	27,972	36,121			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者団体等助成事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	杉山 文章	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがいくり						
	目的	高齡者が、老人クラブに加入し、健康づくりを進める活動や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする活動等に参加することにより、高齡者自身の心身の健康や生きがいくりを支援する。			主たる内容		刈谷市老人クラブ連合会、老人クラブ連合会に入会した団体（単位老人クラブ）に対し、老人クラブの会員の教養の向上、健康増進及び地域活動を支援するため、補助金を交付する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画、刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市老人クラブ等補助金交付要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和47年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（57クラブ）への補助金の交付		老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（58クラブ）への補助金の交付		老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（58クラブ）への補助金の交付		老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（58クラブ）への補助金の交付	
成果 (できたこと)		老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに対し補助金を交付し活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の心身の健康や生きがいくりを推進することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		老人クラブ加入人数（人）			8,090	8,249	8,237	8,237	—
活動指標		老人クラブ加入率（%）			26.5	25.8	25.0	24.4	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		7,652	7,725	7,718	7,801	合計 7,718,338 円		
	財源	特定財源	2,297	2,285	2,308	2,271	負担金、補助及び 交付金 7,718,338 円		
		一般財源	5,355	5,440	5,410	5,530			
	職員人件費 ②		0	2,899	2,871	2,997			
	総事業費 (①+②)		7,652	10,624	10,589	10,798			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		老人クラブ補助金（県） 老人クラブ連合会補助金（県）					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	坂本 恵	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	老人のレクリエーション、教養の向上のための場である老人いこいの場を設置・運営し、高齢者の心身の健康と福祉の増進を図る。			主たる内容	老人いこいの場の設置にかかる備品等の購入及び運営を委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
	対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	昭和48年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		開設日数：6,529日(35ヶ所) 利用者数：69,283人		開設日数：6,119日(36ヶ所) 利用者数：69,097人		開設日数：6,815日(36ヶ所) 利用者数：76,150人		開設日数：6,120日(34ヶ所) 利用者数：72,000人	
成果 (できたこと)		いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		いこいの場開設日数 (日)			6,529	6,119	6,815	6,120	—
活動 指標		いこいの場利用者数 (人)			69,283	69,097	76,150	72,000	—
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費①		3,429	3,810	3,466	3,492	合計	3,465,870円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	役務費	9,870円	
		一般財源	3,429	3,810	3,466	3,492	委託料	3,456,000円	
	職員人件費②		0	2,175	2,154	1,873			
	総事業費(①+②)		3,429	5,985	5,620	5,365			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	坂本 恵

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齢者福祉			
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり			
	目的	高齢者のスポーツ活動・健康づくり活動などを総合的に展開するとともに高齢者の社会活動への積極的参加の推進を図り、明るい活力ある長寿社会の実現に向けて、高齢者が生涯を健康で生きがいを持って社会活動を行うことができるよう支援する。	主たる内容	ゲートボール、グラウンド・ゴルフなど野外でのレクリエーションを通して、高齢者の生きがいと健康づくりの促進と世代間交流を図るため刈谷市老人クラブ連合会へ事業委託する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
		根拠法令				
		対象者	老人クラブ会員および60歳以上の高齢者	事業期間	昭和56年度～	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
老人クラブ連合会への委託事業実績 ・ゲートボール、 ・グラウンド・ゴルフ ・おじいちゃん・おばあちゃん と行く名古屋港水族館 ・簡易健康度評価		老人クラブ連合会への委託事業実績 ・ゲートボール ・グラウンド・ゴルフ ・おじいちゃん・おばあちゃん と行く名古屋港水族館 ・簡易健康度評価		老人クラブ連合会への委託事業実績 ・ゲートボール ・グラウンド・ゴルフ ・おじいちゃん・おばあちゃん と行く名古屋港水族館 ・簡易健康度評価		老人クラブ連合会への委託事業実績 ・ゲートボール ・グラウンド・ゴルフ ・おじいちゃん・おばあちゃん と行く名古屋港水族館 ・簡易健康度評価		
成果 (できたこと)	刈谷市老人クラブ連合会へ事業委託する事で、ゲートボール、グラウンド・ゴルフなど野外でのレクリエーションや世代間交流を図る行事などが円滑に行われ、高齢者の生きがいと健康づくりの促進や世代間交流を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)	参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、内容について見直す必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動 指標	参加延人数 (人)			712	717	696	843	—
成果 指標								
他市との 比較検証								

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
事業費 ①		802	777	794	1,000	合計	793,582 円
財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	793,582 円
	一般財源	802	777	794	1,000		
職員人件費 ②		0	362	1,077	1,498		
総事業費(①+②)		802	1,139	1,871	2,498		
建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
	23年度迄の累積事業費		0				
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			高年齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	坂本 恵	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	全国健康福祉祭など高齢者スポーツ大会出場者に激励金を交付し、高齢者のスポーツ奨励及び激励をする。			主たる内容	市内在住・在勤・在学の高齢者スポーツ大会出場者で県代表として全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
北海道・札幌大会：8人		石川大会：6人		熊本大会：7人		宮城・仙台大会（予定）			
成果 (できたこと)		愛知県代表として全国大会に出場する選手に奨励金を交付する事で、大会出場者の士気を高めることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		高齢者スポーツ大会出場者数（人）			8	6	7	13	—
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		80	60	70	150	合計	70,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	報償費	70,000 円	
		一般財源	80	60	70	150			
	職員人件費 ②		0	362	1,077	749			
	総事業費 ((①+②))		80	422	1,147	899			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者布団乾燥等事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	菅田 千恵子		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援							
	目的	高齡者に対し、布団の乾燥並びに寝具のクリーニング及び貸与を実施し、清潔な寝具で過ごしてもらうことにより、福祉の向上を図る。		主たる内容	65歳以上の高齡者のみの世帯で、布団の衛生管理が困難な人に対し、布団乾燥車が自宅へ出向き、布団等の乾燥消毒を実施する。 また、在宅のねたきり又は認知症の高齡者（見舞金受給者）を対象に、寝具のクリーニング及び貸与を実施する。 利用者負担：1回300円（布団乾燥のみ）					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市高齡者布団乾燥等事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和54年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		布団乾燥：102人		布団乾燥：101人		布団乾燥：98人		布団乾燥：110人		
寝具クリーニング：10人		寝具クリーニング：17人		寝具クリーニング：22人		寝具クリーニング：22人				
寝具貸与：6人		寝具貸与：6人		寝具貸与：4人		寝具貸与：7人				
成果 (できたこと)		利用者がサービスを利用し快適な睡眠を得ることにより高齡者の健康維持を図るとともに、介護者の負担軽減を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)		高齡化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		高齡者布団乾燥等利用者数（人）			118	124	124	139	148	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳			
	事業費①		3,417	3,315	3,496	3,725	合計	3,495,757円		
	財源	特定財源	211	209	204	226	委託料	3,357,831円		
		一般財源	3,206	3,106	3,292	3,499	使用料及び賃借料	137,926円		
	職員人件費②		0	1,812	1,795	1,498				
	総事業費（①+②）		3,417	5,127	5,291	5,223				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			配食サービス事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	清水 景子		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	食事の支度が困難な高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を行い、健康で自立した生活を送ることができるよう支援する。			主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯でサービスの提供が必要であると判断された人に対し、毎週木曜日の昼食と火曜日・金曜日の夕食を配達し安否確認を行う。 ※昼食は配達ボランティア、夕食は市内の4つの業者が行う。(カロリーコントロール・減塩等の必要の無い人を対象とした一般食) 委託先：刈谷市社会福祉協議会 利用者負担：1食300円 市負担：1食300円・配達料80円				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画、刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市老人配食サービス事業実施要綱							
	対象者	65歳以上の高齢者のみの世帯			事業期間	平成8年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		利用者数：249人 延べ利用食数：24,268食		利用者数：252人 延べ利用食数：25,183食		利用者数：258人 延べ利用食数：25,046食		利用者数：275人		
成果 (できたこと)		サービスの提供が必要な高齢者世帯に定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、対象者の健康管理に役立った。また、配食の際に高齢者世帯の安否確認を行うとともに、利用者の状況等を確認することができた。								
課題 (できなかったこと)		高齢化社会が進み、事業費の増加が見込まれる中、事業のあり方について検討する必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		配食サービス利用者数(人)			249	252	258	275	288	
成果指標										
他市との比較検証		配食サービスの実施回数については、週1回から毎日実施しているところまで各市とも様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助しているところから、配達費のみ補助している市まで様々である。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		13,187	13,741	14,376	16,236	合計	14,375,689円		
	財源	特定財源	2,159	2,158	2,208	2,460	委託料	14,375,689円		
		一般財源	11,028	11,583	12,168	13,776				
	職員人件費②		0	2,175	2,154	2,248				
	総事業費(①+②)		13,187	15,916	16,530	18,484				
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費			0	在宅福祉事業一部負担金						
25年度以降の事業費見込			0							

会計名			生ががい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	清水 景子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくり						
	目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、要介護状態にならないよう通所による介護予防サービスを提供し、自立支援と保健福祉の向上を図る。	主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護の認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて生活支援通所サービス（ミニデイサービス）を提供する。 ○あつまりん ボランティアを利用し、通所型の介護サービスを行う。 ○ちびじゃん 活動するボランティアの子供を保育する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生ががい活動支援通所事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成9年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		実施延日数：148日 利用延人数：1,274人		実施延日数：136日 利用延人数：1,297人		実施延日数：135日 利用延人数：1,329人		実施延日数：168日 利用延人数：1,414人	
成果 (できたこと)		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		生ががい活動支援通所事業実施延日数（日）			148	136	135	168	168
活動指標		生ががい活動支援通所事業利用延人数（人）			1,274	1,297	1,329	1,414	1,479
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,461	3,428	3,570	4,496	合計	3,570,443 円	
	財源	特定財源	636	649	664	1,020	委託料	3,570,443 円	
		一般財源	2,825	2,779	2,906	3,476			
	職員人件費 ②		0	725	359	749			
	総事業費（①+②）		3,461	4,153	3,929	5,245			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者タクシー助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	櫻井 章弘

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齡者福祉			
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援			
	目的	身体上又は精神上の障害があつて、日常生活を営むのが困難な高齡者に対しタクシー料金の一部を助成することにより、高齡者の外出を支援し、また、一般の交通機関を利用することが困難な高齡者が医療機関への通院等を容易にするため介護タクシーを利用する場合に、料金の一部を助成することにより、高齡者の福祉の増進を図る。	主たる内容	【高齡者タクシー】 在宅の要支援2以上で、前年分所得税が非課税世帯の高齡者（65歳以上）に対し、タクシー料金助成利用券を年36枚（1枚680円）交付する。 【介護タクシー】 在宅の要介護1以上で、通常の車両に乗れない高齡者（65歳以上）に対し、通院等を支援するため、寝台や車椅子用昇降機付車両のタクシー料金助成利用券を年36枚交付する。 ・車椅子用昇降機付車両 1枚3,280円 ・寝台付き車両 1枚3,640円		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画			
		根拠法令	刈谷市高齡者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー事業実施要綱			
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成14年度～
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
	高齡者タクシー券利用者数：168人		高齡者タクシー券利用者数：155人		高齡者タクシー券利用者数：148人		高齡者タクシー券利用者数：169人		
	介護タクシー券利用者数：141人		介護タクシー券利用者数：189人		介護タクシー券利用者数：178人		介護タクシー券利用者数：206人		
	成果 (できたこと)	タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
	課題 (できなかったこと)	高齡化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	高齡者タクシー券利用者数（人）			168	155	148	169	183	
活動指標	介護タクシー券利用者数（人）			141	189	178	206	223	
他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		6,488	7,327	7,393	8,002	合計 7,392,791 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 261,891 円	
		一般財源	6,488	7,327	7,393	8,002	扶助費 7,130,900 円	
	職員人件費 ②		0	1,812	2,871	2,997		
	総事業費 (①+②)		6,488	9,139	10,264	10,999		
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称		
23年度迄の累積事業費			0					
25年度以降の事業費見込			0					

会計名			友愛訪問事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	坂本 恵	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	ひとり暮らし高齢者を訪問し安否の確認と話し相手となり、孤立しないよう支援する。	主たる内容	市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、地区の老人クラブ会員などが、週2回程度定期的に訪問し、安否確認を行うとともに話し相手になる。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		訪問員：33人 対象者：37人		訪問員：30人 対象者：34人		訪問員：24人 対象者：27人		訪問員：37人 対象者：37人	
成果 (できたこと)		ひとり暮らし高齢者を訪問し安否の確認をするとともに、話し相手になることにより孤独感を解消することができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		友愛訪問員数 (人)			33	30	24	—	—
活動指標		友愛訪問対象者数 (人)			37	34	27	37	40
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		304	275	217	360	合計	216,750 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	216,750 円	
		一般財源	304	275	217	360			
	職員人件費 ②		0	362	718	1,124			
	総事業費 (①+②)		304	637	935	1,484			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			在宅介護実技研修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	坂本 恵		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	高齢社会に対応するため家庭で介護する基本的な知識、技術を身につけることができるよう支援する。		主たる内容	家庭介護に関心のある方を募集して研修会を開催する。 なお、男女共同参画イベント事業の一環として実施している。					
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令								
	対象者	介護に関心のある人			事業期間	平成16年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・中部地区 1日目(講義)27人(演習)28人 2日目(演習)25人 3日目(講義)28人 ・南部地区 (講義)31人(演習)30人 ・北部地区 (講義)20人(演習)18人 計207人		・中部地区 1日目(講義)20人(演習)21人 2日目(演習)23人 3日目(講義)19人 ・南部地区 (演習)23人 ・北部地区 (講義)18人(演習)20人 計144人		・中部地区 1日目(講義)24人(演習)24人 2日目(演習)26人 3日目(講義)29人 ・南部地区 (演習)24人 ・北部地区 (講義)19人(演習)20人 計166人		・中部地区 1日目(講義)25人(講義)25人 2日目(演習)25人 3日目(講義)25人 ・南部地区 (講義)30人(講義)30人 ・北部地区 (講義)30人(講義)30人 計220人		
		成果 (できたこと)	高齢社会に対応するため、家庭での介護も重要になり、専門家による講演、演習を通し基本的な知識、技術を身につけることができた。							
課題 (できなかったこと)		より幅広い世代の方に参加してもらうため、PR方法について検討する必要がある。								
指標名称(単位)		実績値			目標値					
活動指標	家庭介護教室参加者数(人)	21年度	22年度	23年度	24年度	26年度				
成果指標		207	144	166	220					
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位:千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①	131	108	52	203	合計	52,250円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料	52,250円		
		一般財源	131	108	52	203				
	職員人件費②	0	725	1,436	1,498					
	総事業費(①+②)	131	833	1,488	1,701					
	建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		認知症啓発推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	課等長名	角岡 重幸	
3	1					3	作成者	石田 栄美子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	認知症に対する正しい知識とその具体的な対応方法などを理解し、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進する。	主たる内容	認知症の啓発と認知症に関する知識習得機会を提供し、認知症高齢者を取り巻く環境を整備する。 ○認知症サポーター養成講座 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対し、温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。 ○認知症に関するパンフレットを作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画、刈谷市高齢者福祉計画					
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	平成19年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・認知症サポーター養成講座12回開催：436人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・認知症サポーター養成講座10回開催：295人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・認知症サポーター養成講座15回開催：442人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・認知症サポーター養成講座15回開催：300人(予定) ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	
成果(できたこと)		地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、民生・児童委員、老人クラブ、ボランティアをはじめとする各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。							
課題(できなかったこと)		認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標	認知症サポーター養成講座受講者累計数(人)		563	858	1,300	1,600	2,200		
成果指標									
他市との比較検証	県のモデル事業等をいち早く積極的に活用した近隣市(安城市、東浦町)と比べると、実績数値が少ない。様々な機会を通じて、受講に向けての啓発を進めていく必要がある。								
C 事業コスト V	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		0	348	162	197	合計	162,452円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	161,752円	
		一般財源	0	348	162	197	役務費	700円	
	職員人件費②		0	725	1,077	1,498			
	総事業費(①+②)		0	1,073	1,239	1,695			
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
	23年度迄の累積事業費		0						
	25年度以降の事業費見込		0						

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					課等長名	角岡 重幸
3	1	3					作成者	清水 景子
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実					
	目的	高齢者福祉の拠点として、高齢者の能力活用及び生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	指定管理者である、刈谷市シルバー人材センターにより施設の管理運営及び各種講座を実施し、高齢者の生きがい活動を支援する。			
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和62年度 ~		
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則					
	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
	・高齢者市民講座の開催(9講座13教室：266回) ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催(9講座13教室：266回) ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催(9講座13教室：266回) ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催(9講座13教室：266回予定) ・講座室、多目的室等の利用	
成果 (できたこと)	高齢者能力活用及び生きがいと健康づくりの場を提供し、福祉の向上を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)								
指標名称(単位)				実績値			目標値	
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果 指標	高齢者市民講座参加者延人数(人)			5,046	5,261	5,608	5,800	5,800
成果 指標	生きがいセンター延べ利用者数(人)			23,626	23,484	23,684	23,700	23,700
他市との 比較検証								
C 事業 コスト V	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		18,470	18,966	19,264	19,722	合計	19,263,841 円
	財 源	特定財源	0	0	0	10	役務費	7,897 円
		一般財源	18,470	18,966	19,264	19,712	委託料	17,275,944 円
	職員人件費 ②		0	362	1,436	749	使用料及び賃借料	1,980,000 円
	総事業費(①+②)		18,470	19,328	20,700	20,471		
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
23年度迄の累積事業費		0						
25年度以降の事業費見込		0						

会計名			生きがいセンター整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	清水 景子		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	生きがいセンターの施設を整備し、安全で快適な環境を提供し、高齢者福祉の増進と利用者の利便性を図る。			主たる内容	生きがいセンターの施設を整備し、安全で快適な環境を提供する。				
	対象者	市内に在住する満60歳以上の人及び老人福祉関係団体								
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和62年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
・西階段手摺設置		・相談室等改修工事 ・通信カラオケ（2階設置） ・自動血圧計の設置		・2階和室畳取替 ・公共施設連絡バス走行路障害排除改良工事 ・3階集会室映像機器更新 ・カーテン取替		_____				
成果 (できたこと)		施設設備を行い、安全で快適な環境を提供し、高齢者福祉の増進および利用者の利便性を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）			23,626	23,484	23,684	23,700	23,700	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		436	4,742	1,701	0	合計		1,700,850 円	
	財源	特定財源	0	160	0	0	工事請負費		892,500 円	
		一般財源	436	4,582	1,701	0	備品購入費		808,350 円	
	職員人件費 ②		0	1,450	718	0				
	総事業費 (①+②)		436	6,192	2,419	0				
	建設事業	全体事業費		4,742		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		4,742								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			生活支援ハウス運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	近田 和歩	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	居宅において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6ヶ月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料は、利用者の収入によって決定する他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成19年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		延人数：11人 延日数：1,204日		延人数：11人 延日数：1,030日		延人数：7人 延日数：889日		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果 (できたこと)		住宅改修等により一時的に住居が必要となった高齢者に対して住居を提供することで、高齢者の不安の解消及び必要な支援等を実施することができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者は増加しているため、一時的な住居として利用できる生活支援ハウスの周知を図る必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		生活支援ハウス利用延人数 (人)			11	11	7	—	—
成果 指標									
他市との 比較検証		安城市、碧南市及び高浜市においても同事業を実施。定員は他市もすべて10名であり、実績値においても大きな差はない。							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		8,780	8,780	8,780	8,780	合計	8,780,000 円	
	財 源	特定財源	173	358	88	10	委託料	8,780,000 円	
		一般財源	8,607	8,422	8,692	8,770			
	職員人件費 ②		0	1,812	2,512	2,248			
	総事業費(①+②)		8,780	10,592	11,292	11,028			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		生活支援ハウス利用負担金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			認知症高齢者グループホーム等消防設備整備費補助事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			課等長名	角岡 重幸
					作成者	岩間 誠二

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	介護サービスの充実				
	目的	スプリンクラーの設置費用を補助することで事業者の経営面での負担軽減と利用者負担への転嫁を防ぐ。			主たる内容	消防法施行令等の一部改正によりスプリンクラーの設置が義務付けられた既存のグループホーム等の事業者に対し、設置費用の補助を行う。 グループホームは、県支出金を財源として市が補助を行うが、県支出金が基準額（9,000円/㎡）に満たない場合、3,000千円を限度に差額を市で補填する。短期入所施設は、県が直接補助する制度があり、県の補助額が基準額（9,000円/㎡）に満たない場合、3,000千円を限度に市で差額を補填する。	
	位置づけ	関連計画					
			根拠法令	刈谷市認知症高齢者グループホーム等消防設備整備費補助金交付要綱			
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成21年度 ~ 平成23年度	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
補助施設数：	1施設	補助施設数：	1施設	補助施設数：	1施設		
補助額：	4,023,000円	補助額：	4,399,000円	補助額：	6,069,000円		

成果 (できたこと)	補助事業を活用することで、グループホームのスプリンクラー設置費用について事業者負担が軽減され、適切な設置・利用者の安全の確保がなされた。					
課題 (できなかったこと)						

指標名称 (単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	補助施設数 (箇所)	1	1	1	-	-
活動指標	補助額 (円)	4,023,000	4,399,000	6,069,000	-	-

他市との比較検証	国の交付金、県の補助金を財源として、全国的に行われている。					
----------	-------------------------------	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
事業費 ①		4,023	4,399	6,069	0	合計	6,069,000 円
財源	特定財源	4,023	4,399	6,069	0	負担金、補助及び交付金	6,069,000 円
	一般財源	0	0	0	0		
職員人件費 ②		0	72	72	0		
総事業費 (①+②)		4,023	4,471	6,141	0		
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
	23年度迄の累積事業費		0		介護基盤緊急整備等補助金 (県)		
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名 一般会計			認知症高齢者グループホーム施設開設準備 経費補助事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			課等長名	角岡 重幸
					作成者	岩間 誠二

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	介護サービスの充実					
	目的	刈谷市において新たに整備されるグループホームの開設時から安定した、質の高いサービスを提供するための体制整備を支援する。		主たる内容	民間事業所が整備する認知症高齢者グループホームの開設準備経費（開設前の6か月間に係る経費）に対し、1施設につき600千円×定員を上限とした補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
			根拠法令	介護職員処遇改善等臨時特例基金事業費補助金交付要綱（県要綱）				
		対象者	グループホームを開設する事業者	事業期間	平成21年度～平成23年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
—		補助施設数：1施設 補助額：10,800,000円		補助施設数：1施設 補助額：10,800,000円		—	

成果 (できたこと)	補助事業を活用することで、グループホーム開設準備経費について事業者負担を軽減し、事業所の開設・運営が円滑に行われた。					
課題 (できなかったこと)						

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	補助施設数（箇所）	—	1	1	—	—
活動指標	補助額（円）	—	10,800,000	10,800,000	—	—

他市との比較検証	県の補助金を財源として、全国的に行われている。					
----------	-------------------------	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳
事業費 ①		0	10,800	10,800	0	
財源	特定財源	0	10,800	10,800	0	負担金、補助及び 交付金 10,800,000 円
	一般財源	0	0	0	0	
職員人件費 ②		0	72	72	0	
総事業費 (①+②)		0	10,872	10,872	0	
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称		
	23年度迄の累積事業費		0	施設開設準備経費補助金（県）		
	25年度以降の事業費見込		0			

会計名 一般会計		認知症高齢者グループホーム等防災改修等				担当部	福祉健康部		
款	項	目	整備費補助事業				担当課	長寿課	
3	1	3					課等長名	角岡 重幸	
							作成者	岩間 誠二	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	施設の防災改修等を行うことで、利用者の安全の確保を図り、サービスの継続的な提供に支障をきたさないようにする。			主たる内容	グループホーム等の施設の防災改修等を実施した事業者に対し、1施設あたり650万円を上限に補助を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業費補助金交付要綱（県要綱）						
		対象者	施設の防災改修を行う事業者	事業期間	平成23年度 ~ 平成23年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		_____		_____		補助施設数： 2施設 補助額： 3,249,000円		_____	
成果 (できたこと)		補助事業を活用することで、防災改修を行う事業者の負担軽減を図ることができ、災害時の利用者の安全の確保を促進することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		補助施設数 (箇所)			—	—	2	—	—
活動指標		補助額 (円)			—	—	3,249,000	—	—
他市との比較検証		権の補助金を財源として、全国的に行われている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,249	0	合計 3,249,000 円		
	財源	特定財源	0	0	3,249	0	負担金、補助及び 交付金 3,249,000 円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	72	0			
	総事業費 (①+②)		0	0	3,321	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		介護基盤緊急整備等補助金（ 県）					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			住宅改善費補助事業				担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	河隈 宙三		
総合計画 施策体系							分野	福祉安全		
			基本施策	高齢者福祉						
			施策の内容	介護サービスの充実						
PLAN 事業概要 計画	目的	心身機能が低下した在宅の要支援・要介護認定者が、住み慣れた自宅で安全に生活できるようにする。			主たる内容	①要支援・要介護認定者に対し、改修に係る費用が介護保険住宅改修費の給付上限額20万円を超えた場合に補助金を交付する。(上限10万円)				
						②給付管理されていない人の介護保険住宅改修費支給申請に係る住宅改修理由書を作成した居宅介護支援事業者等に対し、1件あたり2,000円の補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	①刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 ②刈谷市介護保険住宅改修支援業務補助金交付要綱							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
	①補助件数：128件 補助額：9,228,096円		①補助件数：128件 補助額：9,506,148円		①補助件数：132件 補助額：10,163,471円		①補助件数：155件 補助額：11,800,000円			
	②補助件数：54件 補助額：108,000円		②補助件数：39件 補助額：78,000円		②補助件数：47件 補助額：94,000円		②補助件数：60件 補助額：120,000円			
	成果 (できたこと)	①補助事業を活用することで、要支援・要介護認定者や家族の負担が軽減され、自宅で安全に生活できる住環境の整備を行うことができた。 ②補助事業を活用することで、居宅介護支援事業者等に給付管理されていない要支援・要介護認定者の理由書が円滑に作成することができた。								
	課題 (できなかったこと)									
	指標名称(単位)			実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
	活動指標	①補助件数(件)		128	128	132	155	—		
	活動指標	②補助件数(件)		54	39	47	60	—		
	他市との比較検証	西三河6市全て実施しており、条件は様々であるが、補助額を10万円を基本としている市が多い。(条件により15万円・30万円としている市もある。)								
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳			
	事業費 ①		9,336	9,584	10,257	11,920	合計 10,257,471円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 10,257,471円			
		一般財源	9,336	9,584	10,257	11,920				
	職員人件費 ②		0	725	718	749				
	総事業費(①+②)		9,336	10,309	10,975	12,669				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			日常生活用具給付等事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	菅田 千恵子	
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	ひとり暮らしの高齢者等が、安全に安心して生活できるよう、日常生活用具を給付することにより、福祉の増進を図る。 (火災警報器については設置義務付け)			主たる内容	ひとり暮らし高齢者等の日常生活を容易にするために、火災警報器・自動消火器・電磁調理器の日常生活用具を給付する。			
	対象者	65歳以上の高齢者のうち前年分所得税が非課税世帯で、火災警報器・自動消火器については、ひとり暮らし高齢者及びねたきり・認知症高齢者、電磁調理器については、ひとり暮らしの高齢者とする。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	衣浦東部広域連合火災予防条例、刈谷市老人日常生活用具給付等事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
火災警報器：46台 自動消火器：8台 電磁調理器：7台		火災警報器：47台 自動消火器：8台 電磁調理器：13台		火災警報器：31台 自動消火器：2台 電磁調理器：8台		火災警報器：24台 自動消火器：9台 電磁調理器：14台			
成果 (できたこと)		ひとり暮らし高齢者等の日常生活を容易にするため、日常生活用具を給付し、福祉の増進を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、防災上の観点からも、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		日常生活用具給付数 (台)			61	68	41	47	50
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		554	604	317	1,164	合計	316,596 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	316,596 円	
		一般財源	554	604	317	1,164			
	職員人件費 ②		0	725	1,795	1,498			
	総事業費(①+②)		554	1,329	2,112	2,662			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			緊急通報システム整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	櫻井 章弘		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者のお宅に緊急通報システム機器を設置することにより、急病、火災等の緊急時に迅速に対処し、日常生活の安全確保と不安解消を図り、福祉の向上を図る。			主たる内容	65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、急病・火災等の緊急時に、ボタンひとつで連絡がとれる緊急通報システムを設置し、看護師等の知識を持つ専門スタッフが24時間体制で適切な対応を行う。 設置費用及び機器使用料は市が負担し、通信料金は利用者が負担する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱								
	対象者	65歳以上のひとり暮らし高齢者			事業期間	平成5年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		設置台数：419台		設置台数：419台		設置台数：440台		設置台数：461台		
		成果 (できたこと)	ひとり暮らし高齢者のお宅に緊急通報システム機器を設置することにより、急病、火災等の緊急時に迅速に対処し、日常生活の安全確保と不安解消を図り、もって福祉の向上を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		緊急通報システム設置台数（台）			419	419	440	461	503	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳		
	事業費 ①		11,289	11,468	12,178	12,887	合計	12,177,858 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	12,177,858 円		
		一般財源	11,289	11,468	12,178	12,887				
	職員人件費 ②		0	1,087	2,512	1,873				
	総事業費（①+②）		11,289	12,555	14,690	14,760				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			老人福祉電話設置運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	櫻井 章弘	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	ひとり暮らし高齢者で継続して安否確認の必要な者に対し、定期的な声の訪問を行うことにより孤立を防ぎ、福祉の向上を図る。	主たる内容	65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、お宅に民生委員が定期的な電話による声の訪問を行い、安否確認、相談及び助言をする。 また、前年分所得税が非課税で、電話機のない65歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅に電話機を設置する。 設置費用及び基本料金は市が負担し、通話料金は利用者が負担する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市福祉電話設置要綱							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		声の訪問利用者数：34人 設置者数：35人		声の訪問利用者数：37人 設置者数：32人		声の訪問利用者数：36人 設置者数：32人		声の訪問利用者数：41人 設置者数：35人	
成果 (できたこと)		ひとり暮らし高齢者で継続して安否確認の必要な者に対して、電話訪問等を行うことにより孤立を防ぐことができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標	声の訪問利用者数(人)		34	37	36	41	43		
活動指標	電話機設置者数(人)		35	32	32	35	38		
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		927	907	913	1,113	合計		913,119円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		228,000円
		一般財源	927	907	913	1,113	扶助費		685,119円
	職員人件費②		0	1,450	2,871	1,498			
	総事業費(①+②)		927	2,357	3,784	2,611			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			シルバーハウジング支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	櫻井 章弘

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齢者福祉			
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援			
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料 月額1,000円 ※生活保護法による被保護者世帯及び生活中心者前年所得税非課税世帯は除く。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱			
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
	部屋数：53戸		部屋数：53戸		部屋数：53戸		部屋数：53戸		
	成果 (できたこと)	シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。							
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称(単位)				実績値			目標値	
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
	活動指標	シルバーハウジング部屋数(戸)			53	53	53	53	53
成果指標									
他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①	8,881	9,280	9,876	10,856	合計	9,876,335円	
	財源	特定財源	68	62	43	36	委託料	9,876,335円
		一般財源	8,813	9,218	9,833	10,820		
	職員人件費②	0	362	2,154	1,124			
	総事業費(①+②)	8,881	9,642	12,030	11,980			
	建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0	シルバーハウジング生活援助員派遣手数料					
25年度以降の事業費見込		0						

会計名			家具転倒防止器具取付事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	菅田 千恵子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	家具転倒防止器具の取付けが身体的な理由等により困難な世帯に対し、器具の取付けを代行することにより、災害時における家具転倒事故の防止を図り、安心して生活できる環境を維持する。	主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、タンス・本棚等に取り付ける家具転倒防止器具の取付費用を1世帯につき4点まで補助し、災害発生時において、素早い避難行動の困難な高齢者の身の安全の確保と被害の軽減を図る。 なお、転倒防止に必要な資材等については実費とする。(1組平均800円)					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市家具転倒防止器具取付事業実施要綱						
		対象者	65歳以上の高齢者のみの世帯	事業期間	平成18年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		取付け世帯数：21世帯		取付け世帯数：15世帯		取付け世帯数：17世帯		取付け世帯数：26世帯	
成果 (できたこと)		災害時における家具転倒事故の防止を図り、安心して生活できる環境を整えることができた。							
課題 (できなかったこと)		高齢化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、防災上の観点からも、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		家具転倒防止器具取付世帯数(世帯)			21	15	17	26	28
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		107	76	88	558	合計	87,696 円	
	財 源	特定財源	27	20	22	142	委託料	87,696 円	
		一般財源	80	56	66	416			
	職員人件費 ②		0	725	1,436	1,498			
	総事業費(①+②)		107	801	1,524	2,056			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		緊急市町村地震防災対策事業費補助金(県)			
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護支援ベッド貸与利用料補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	澤井 彩夏	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護軽度者の自立支援及び介護者の負担軽減に寄与し、福祉の向上を図る。		主たる内容	軽度の認定（要支援1・要支援2・要介護1）を受けた寝具からの立ち上がりが困難な人に対し、介護支援ベッドの貸与にかかる費用の9割を補助する。（月額2,835円を上限）				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市介護支援ベッド貸与利用料補助金交付要綱					
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成19年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		補助実人数：122人 補助額：2,758,447円		補助実人数：160人 補助額：3,606,113円		補助実人数：187人 補助額：4,656,478円		補助実人数：220人 補助額：5,699,000円	
成果 (できたこと)		補助事業を活用することで、軽度者の自立支援及び介護者の負担軽減を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		補助実人数（人）		122	160	187	220	—	
成果指標									
他市との比較検証	安城市が同様の事業を実施しており、補助上限額も同額である。								
C 事業コスト V	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		2,758	3,606	4,656	5,699	合計 4,656,478 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 4,656,478 円		
		一般財源	2,758	3,606	4,656	5,699			
	職員人件費 ②		0	362	359	375			
	総事業費 (①+②)		2,758	3,968	5,015	6,074			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者住宅バリアフリー化支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	河隈 宙三	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齡者の転倒防止と負担軽減を図り、高齡者が安心して生活できる住環境を整備する。			主たる内容	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齡者のみの所得税非課税世帯に属する高齡者に対し、手すりの取付けや段差解消等のバリアフリー化工事を行った場合、対象工事費用の9割を補助する。(補助対象限度額10万円、1人1回限り)			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市高齡者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱					
			対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成20年度 ~		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		補助実人数：8人 補助額：689,746円		補助実人数：7人 補助額：590,712円		補助実人数：3人 補助額：270,000円		補助実人数：10人 補助額：900,000円	
成果 (できたこと)		補助事業を活用することで、低所得高齡者が安心して生活できる住環境の整備を行い、要介護状態とならないよう支援することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
活動指標		補助人数(人)	21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		8	7	3	10	—			
他市との比較検証	西三河6市のうちで、要支援・要介護認定されていない高齡者に対する改修費の補助は、条件は様々であるが碧南市、安城市及び高浜市も実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		690	591	270	900	合計	270,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	270,000円	
		一般財源	690	591	270	900			
	職員人件費②		0	72	72	75			
	総事業費(①+②)		690	663	342	975			
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
	23年度迄の累積事業費		0						
	25年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	3					課等長名	角岡 重幸			
							作成者	清水 景子			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。	主たる内容	各地区等で行われる敬老会事業に対し、補助金を交付する。 満75歳以上、満87歳、満99歳、満100歳以上の高齢者にそれぞれ記念品を贈呈する。 満80歳、満85歳、満90歳、満95歳、満99歳以上の高齢者に敬老金（10,000円）を贈呈する。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老祝金品支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱								
		対象者	市内在住の満75歳以上の人	事業期間	～						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		記念品対象者(満75歳以上) 9,614人		記念品対象者(満75歳以上) 10,006人		記念品対象者(満75歳以上) 10,580人		住民基本台帳上の人数によるため、計画・目標値は未設定。			
敬老金対象者(10,000円/人) 1,360人		敬老金対象者(10,000円/人) 1,486人		敬老金対象者(10,000円/人) 1,589人							
成果 (できたこと)		多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。									
課題 (できなかったこと)		高齢者数の増加に伴い、毎年支給総額が増加しているため、支給対象者の見直しが必要である。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標		記念品対象者(満75歳以上)(人)			9,614	10,006	10,580	—	—		
活動指標		敬老金対象者(10,000円/人)			1,360	1,486	1,589	—	—		
他市との比較検証											
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①		25,078	26,764	28,084	31,396	合計 28,084,374円				
	財源	特定財源	2	1	1	2	報償費 21,760,683円				
		一般財源	25,076	26,763	28,083	31,394	需用費 100,333円				
	職員人件費②		0	2,175	2,512	1,873	負担金、補助及び交付金 6,223,358円				
	総事業費(①+②)		25,078	28,939	30,596	33,269					
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0		市町村権限委譲交付金(県)							
25年度以降の事業費見込		0									

会計名			在宅ねたきり老人等見舞金給付事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	石田 栄美子

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援				
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、その属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上でねたきり又は認知症で在宅の人に対し、月額5,000円の見舞金を支給する。見舞金は、年2回（9月・3月）に分けて、民生委員を通じて支給する。			
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
			根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症老人見舞金支給要綱			
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
受給者数：404人		受給者数：497人		受給者数：580人		受給者数：572人	

B 事業 D 実績	成果 (できたこと)	老人福祉の理念に基づき、ねたきり老人等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。				
	課題 (できなかったこと)	高齢化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知に努め、給付に繋がるようにする必要がある。一方、毎年支給総額が増加しているため、支給については適正化を図る必要がある。また、見舞金を配付する民生・児童委員との連携について、円滑に情報共有が図れるよう改善する必要がある。				

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	在宅ねたきり老人等見舞金受給者数（人）	404	497	580	572	616
成果指標						

O 実施	他市との比較検証					
---------	----------	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
C 事業 コスト	事業費 ①	19,895	24,020	28,543	34,978	合計	28,542,760 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	32,760 円
		一般財源	19,895	24,020	28,543	34,978	扶助費	28,510,000 円
		職員人件費 ②	0	1,812	1,436	2,248		
		総事業費 (①+②)	19,895	25,832	29,979	37,226		
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0					
	25年度以降の事業費見込		0					

会計名			在宅ねたきり老人等おむつ給付事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	石田 栄美子

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援				
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者におむつ利用券を支給することにより、介護者の負担を軽減させ、福祉の向上を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症老人見舞金受給者に対し、一月あたり3,000円相当のおむつ利用券を交付する。 ただし、要介護認定4又は5で、市民税非課税世帯の人は、一月あたり6,000円相当のおむつ利用券を交付する。			
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
			根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症老人おむつ支給事業運営要綱			
		対象者	在宅ねたきり・認知症老人見舞金受給者	事業期間	平成8年度 ~		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

B 事業	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
	受給者数：399人		受給者数：408人		受給者数：482人		受給者数：445人	

D 実績	成果 (できたこと)	おむつ利用券を支給することにより、介護者の負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。					
	課題 (できなかったこと)	高齢化の進行に伴い、在宅ねたきり老人等見舞金給付事業と同様、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知に努め、給付に繋がるようにする必要がある。					

O 実施	指標名称 (単位)			実績値			目標値	
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
	活動指標	在宅ねたきり老人等おむつ受給者数 (人)		399	408	482	445	481

V コスト	他市との比較検証						
----------	----------	--	--	--	--	--	--

C 事業	単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①	10,228	11,858	14,346	17,414	合計	14,346,299 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円
		一般財源	10,228	11,858	14,346	17,414	需用費	233,919 円
	職員人件費 ②	0	1,087	1,436	2,248	扶助費	14,076,380 円	
	総事業費 (①+②)	10,228	12,945	15,782	19,662			
	建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0						
25年度以降の事業費見込		0						

会計名			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	岡田 崇弘	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づき、高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の国民健康保険税等の支払い・病院の受診費用・日常生活品の購入などに充てる。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		受給者：15人 支給額：1,117,500円		受給者：14人 支給額：1,297,500円		受給者：14人 支給額：1,252,000円		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果 (できたこと)		生活補給金を支給し、対象者の国民健康保険税等の支払い・病院の受診費用・日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		老人ホーム入所者生活補給金受給者数(人)			15	14	14	—	—
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		1,118	1,298	1,252	1,463	合計	1,252,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	1,252,000円	
		一般財源	1,118	1,298	1,252	1,463			
	職員人件費②		0	725	1,436	749			
	総事業費(①+②)		1,118	2,023	2,688	2,212			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	石田 栄美子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で、一定の要件を満たす者に対し、特別給付金を支給し、福祉の向上を図る。	主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす者に対し、毎月1万円を支給する。					
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		受給者 前期：4人 後期：3人		受給者 前期：3人 後期：2人		受給者 前期：2人 後期：2人		受給者 前期：3人 後期：2人	
成果 (できたこと)		大正15年4月1日以前に出生した外国人は、老齢福祉年金の所得基準を満たした者でも支給がされない為、毎月1万円を特別給付金として支給し、福祉の向上を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
活動指標		在日外国人特別給付金受給延人数(人)			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標				7	5	4	5	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費 ①		360	300	240	600	合計	240,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	240,000 円	
		一般財源	360	300	240	600			
	職員人件費 ②		0	1,087	359	1,124			
	総事業費(①+②)		360	1,387	599	1,724			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			老人ホーム措置事業				担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	3					作成者	岡田 崇弘		
総合計画 施策体系							分野	福祉安全		
			基本施策	高齢者福祉						
			施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
PLAN 事業概要 計画 V	目的		原則として65歳以上の者で、身体上又は精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある者が、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営むために最も適切な支援が総合的に受けられるように、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努め、もって当該高齢者の福祉の増進を図る。		主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、支弁費を支給する。 ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		養護老人ホーム措置者数：35人（3月末現在）		養護老人ホーム措置者数：29人（3月末現在）		養護老人ホーム措置者数：25人（3月末現在）		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。		
		成果（できたこと）	居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
課題（できなかったこと）										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		養護老人ホーム措置者数（人）			35	29	25	—	—	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳			
	事業費 ①		71,112	68,008	59,957	71,072	合計	59,956,701 円		
	財源	特定財源	71,062	67,988	58,743	71,032	報償費	20,000 円		
		一般財源	50	20	1,214	40	扶助費	59,936,701 円		
	職員人件費 ②		0	3,624	5,025	4,870				
	総事業費（①+②）		71,112	71,632	64,982	75,942				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
		23年度迄の累積事業費		0		老人ホーム入所者措置収入				
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		在宅老人短期保護事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	課等長名	角岡 重幸	
3	1					3	作成者	岡田 崇弘	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	高齢者の介護者に代わって一時的に保護する必要がある場合に、当該高齢者を養護老人ホームに保護し、これら高齢者及びその家庭の福祉の向上を図る。	主たる内容	65歳以上の要介護認定非該当の高齢者を、家族の疾病・事故などにより一時的に保護する必要がある場合等に、原則として7日以内、介護者に代わって養護老人ホームで保護する。 利用者負担：1日につき1,730円					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市在宅老人短期保護事業実施要綱						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和60年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		利用者数：6人 利用延べ日数：102日 事業委託料：388,620円		利用者数：1人 利用延べ日数：3日 事業委託料：11,430円		利用者数：3人 利用延べ日数：19日 事業委託料：72,390円		平成24年度から、養護老人ホーム管理運営事業に事業統合。	
成果 (できたこと)		在宅で介護を行う場合、潜在的に冠婚葬祭や緊急時等の、一時的に世話ができない事態が発生する可能性があるが、当該サービスを常時提供することにより、介護家族の生活の安定・安心に寄与することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		ショートステイ利用者数(人)			6	1	3	—	—
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		389	11	72	0	合計	72,390円	
	財源	特定財源	176	5	72	0	委託料	72,390円	
		一般財源	213	6	0	0			
	職員人件費②		0	725	1,795	2,622			
	総事業費(①+②)		389	736	1,867	2,622			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護保険会計繰出事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	3		作成者	岩間 誠二

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齢者福祉			
		施策の内容	介護サービスの充実			
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。		主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。	
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
	根拠法令	介護保険法				
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成12年度～	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他				

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
介護給付費分：	570,437,628円	介護給付費分：	599,480,912円	介護給付費分：	652,132,000円	介護給付費分：	693,161,000円
地域支援事業費分：	25,621,810円	地域支援事業費分：	37,063,863円	地域支援事業費分：	23,034,000円	地域支援事業費分：	25,592,000円
総務費分：	151,703,640円	総務費分：	158,523,988円	総務費分：	199,689,000円	総務費分：	185,562,000円
計	747,763,078円	計	795,068,763円	計	874,855,000円	計	904,315,000円

成果 (できたこと)	介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。				
課題 (できなかったこと)					

指標名称(単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	繰出額(千円)	747,763	795,069	874,855	904,315	-
成果指標						

他市との比較検証					
----------	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
事業費①		747,763	795,069	874,855	904,315	合計	874,855,000円
財源	特定財源	0	0	0	0	繰出金	874,855,000円
	一般財源	747,763	795,069	874,855	904,315		
職員人件費②		0	72	72	75		
総事業費(①+②)		747,763	795,141	874,927	904,390		
建設事業	全体事業費	0		23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費	0					
	25年度以降の事業費見込	0					

会計名			訪問介護利用者負担助成事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	澤井 彩夏	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	障害者自立支援法による訪問介護を無料で利用していた低所得者に対し、介護保険法による訪問介護を利用することにより新たに発生する利用者負担を軽減する。	主たる内容	障害者自立支援法による訪問介護を無料で利用していた低所得者に対し、介護保険法による訪問介護の利用に係る10%の利用者負担を0%となるよう助成する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市介護保険訪問介護利用者負担金助成要綱						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
								助成額：22,000円	
成果 (できたこと)		現時点で該当者はなし。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		助成額 (円)	0	0	0	22,000	—		
成果指標									
他市との比較検証		国・県の補助のもと、全国的に実施されている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	24	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	18			
		一般財源	0	0	0	6			
	職員人件費 ②		0	72	72	75			
	総事業費(①+②)		0	72	72	99			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			福祉法人等サービス利用軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	澤井 彩夏	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	社会福祉法人の低所得高齢者に対する利用料の軽減を促進し、低所得高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用できるよう支援する。	主たる内容	介護費の利用者負担のうち1/4又は1/2（平成21、22年度は「28/100また53/100」）、食費、居住費等の利用者負担のうち1/4又は1/2を軽減した社会福祉法人等に対し、軽減によって1%を超える損失が発生した場合に、超えた額の50%を公費で補填する。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令		社会福祉法人等による生計困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助金交付要綱					
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		補助法人数：3法人 補助額：2,009,000円		補助法人数：2法人 補助額：1,709,000円		補助法人数：1法人 補助額：1,623,000円		補助法人数：— 補助額：2,081,000円	
成果 (できたこと)		補助事業を活用することで、社会福祉法人は低所得高齢者に対し円滑に軽減を行うことができ、低所得高齢者が必要なサービスの提供を受けることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標	補助額（円）		2,009,000	1,709,000	1,623,000	2,081,000		—	
成果指標									
他市との比較検証	県下で概ね実施されている。								
C 事業コスト	単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳		
	事業費①		2,009	1,709	1,623	2,081	合計 1,623,000円		
	財源	特定財源	1,506	1,281	1,217	1,560	負担金、補助及び交付金 1,623,000円		
		一般財源	503	428	406	521			
	職員人件費②		0	362	359	375			
	総事業費（①+②）		2,009	2,071	1,982	2,456			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減事業費補助金（県）					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		居宅サービス等利用者負担助成事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	課等長名	角岡 重幸	
3	1					3	作成者	澤井 彩夏	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得者であって、生計を維持することが困難である世帯に属する者に対し、介護保険の居宅サービス、地域密着型サービス及び住宅改修の利用に係る利用者負担を軽減し、介護保険の利用を促進する。			主たる内容	市民税非課税世帯に属する者であって、負担能力のある親族等に扶養されておらず、かつ1人世帯の場合では預貯金等が350万円以下、前年収入額が103万円以下等の要件を満たす者に対し、居宅サービス等の利用に係る10%の利用者負担額の1/2を申請に基づき助成する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成13年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		助成人数：42人 助成額：1,610,763円		助成人数：50人 助成額：2,056,862円		助成人数：47人 助成額：1,359,010円		助成人数：53人 助成額：1,598,000円	
成果 (できたこと)		介護保険の居宅サービス等の利用者負担を軽減し、介護保険の利用を促進することができた。また、平成23年4月1日申請分から資格要件に、負担能力のある親族等に扶養されていないこと、1人世帯の場合では預貯金等が350万円以下であること等を加え、助成受給資格の適正化を図った。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		助成人数(人)			42	50	47	53	—
成果指標									—
他市との比較検証		助成対象条件や助成割合は異なるが、県内では18保険者が実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		1,611	2,057	1,359	1,598	合計	1,359,010円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	1,359,010円	
		一般財源	1,611	2,057	1,359	1,598			
	職員人件費②		0	725	718	749			
	総事業費(①+②)		1,611	2,782	2,077	2,347			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	3					作成者	阪野 菜美子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図るため、ケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための支援を行う。			主たる内容	介護支援専門員に対し、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 介護保険法							
	対象者	市内介護支援専門員			事業期間	平成18年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		ケアプラン指導研修会：2回		ケアプラン指導研修：2回		ケアプラン指導研修会：2回		ケアプラン指導研修会：2回	
		成果 (できたこと)	介護保険サービスの利用において重要な位置付けとなるケアプランの作成について、その意義が十分果たせるよう作成する介護支援専門員に対し研修を行うことで、高齢者が適正かつ適切なサービスを利用することができた。						
課題 (できなかったこと)		より多くの介護支援専門員が参加することが効果に繋がるが、参加人数が減少傾向にあるため、参加者を増やす取組みが必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標	開催数 (回)			2	2	2	2	—	
活動指標	延参加人数 (人)			83	59	50	60	—	
他市との比較検証	近隣市での実施はなく、刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		41	27	24	28	合計	24,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	24,000 円	
		一般財源	41	27	24	28			
	職員人件費 ②		0	362	359	375			
	総事業費 (①+②)		41	389	383	403			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	6					作成者	清水 景子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく高齢者の入所施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。	主たる内容	指定管理者である刈谷市社会福祉協議会により、施設の管理運営及び入所者の日常生活の世話等を行う。					
	対象者	概ね65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由（政令で定めるものに限る）により居宅で生活することが困難な人							
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、刈谷市ふれあいの里条例						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
	刈谷市養護老人ホーム入所者数：40人（3月末現在）		刈谷市養護老人ホーム入所者数：33人（3月末現在）		刈谷市養護老人ホーム入所者数：29人（3月末現在）		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。		
	成果 （できたこと）	利用者の生活援助や社会参加の促進を図ることができた。							
	課題 （できなかったこと）								
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
	活動指標	刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			40	33	29	—	—
	成果指標								
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳	
事業費 ①		82,409	80,495	84,117	78,831	合計	84,117,250 円		
財源		特定財源	7,646	6,569	5,659	7,476	需用費	803,250 円	
		一般財源	74,763	73,926	78,458	71,355	委託料	83,314,000 円	
職員人件費 ②		0	2,537	1,077	749				
総事業費（①+②）		82,409	83,032	85,194	79,580				
建設事業		全体事業費		0		23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0		・老人ホーム被措置者負担金 ・在宅老人短期保護手数料 ・老人ホーム入所者措置収入				
	25年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	7		作成者	清水 景子

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齡者福祉			
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実			
	目的	高齡者福祉の拠点として、憩い、くつろぎ・健康増進・世代間交流の場を提供し、福祉の向上を図る。	主たる内容	指定管理である刈谷市社会福祉協議会により、施設の管理運営及び各種講座を実施し、高齡者の生きがい活動を支援する。		
	対象者	満60歳以上の刈谷・碧南・安城・知立・高浜市内に居住している人及び高齡者福祉関係団体				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画			
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則			
	対象者	※主たる内容に記載	事業期間	平成9年度 ~		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
・大浴室利用 ・講座の開催 (陶芸入門、フラダンス、楽しく歌おう、若がえり) ・行事の開催 (老人クラブ1日研修、ひまわりフェスタ、夏のひまわりカラオケ大会、新春ひまわりカラオケ大会、金婚を祝う会)	・大浴室利用 ・講座の開催 (陶芸入門、フラダンス、楽しく歌おう、若がえり) ・行事の開催 (老人クラブ1日研修、ひまわりフェスタ、カラオケ大会、金婚を祝う会)	・大浴室利用 ・講座の開催 (陶芸入門、フラダンス、楽しく歌おう、若がえり) ・行事の開催 (老人クラブ1日研修、ひまわりフェスタ、カラオケ大会、金婚を祝う会)	・大浴室利用 ・講座の開催 (陶芸入門、フラダンス、楽しく歌おう、若がえり) ・行事の開催 (老人クラブ1日研修、ひまわりフェスタ、カラオケ大会、金婚を祝う会)	・大浴室利用 ・講座の開催 (陶芸入門、フラダンス、楽しく歌おう、若がえり) ・行事の開催 (老人クラブ1日研修、ひまわりフェスタ、カラオケ大会、金婚を祝う会)	・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催	・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催	・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催

成果 (できたこと)	利用者の健康増進を図ることができ、社会参加の機会を設けることができた。					
課題 (できなかったこと)	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。					

指標名称 (単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標	高齡者交流プラザ延べ利用者数 (人)	102,314	105,463	111,329	111,500	111,500
成果指標	大浴室利用者数 (人)	53,441	45,643	61,166	61,200	61,200

他市との比較検証						
----------	--	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
財源	事業費 ①	71,841	71,079	72,623	68,602	合計	72,623,108 円
	特定財源	0	0	0	10	役務費	56,380 円
	一般財源	71,841	71,079	72,623	68,592	委託料	69,907,000 円
	職員人件費 ②	0	1,087	1,077	749	使用料及び賃借料	2,516,928 円
総事業費 (①+②)		71,841	72,166	73,700	69,351	工事請負費	142,800 円
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
	23年度迄の累積事業費		0				
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			いきいきプラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	7		作成者	清水 景子

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齢者福祉			
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実			
	目的	高齢者福祉の拠点として生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	指定管理者である刈谷市社会福祉協議会により施設の管理運営及び各種講座を実施し、高齢者の生きがい活動を支援する。		
	対象者	対象者 満60歳以上の刈谷・碧南・安城・知立・高浜市内に居住している人及び高齢者福祉関係団体				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市老人福祉計画			
		根拠法令	刈谷市ツツ木福祉センター条例、刈谷市ツツ木福祉センター条例施行規則			
	対象者	※主たる内容に記載	事業期間	平成10年度～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 (いきいき元気講座等) ・行事の開催 (いきいきフェスタ等)		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 (いきいき元気講座等) ・行事の開催 (いきいきフェスタ等)		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 (いきいき元気講座等) ・行事の開催 (いきいきフェスタ等)		・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催	

成果 (できたこと)	利用者の健康増進を図ることができ、社会参加の機会を設けることができた。					
課題 (できなかったこと)						

指標名称(単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標	いきいきプラザ入館者数(人)	57,948	58,192	48,442	50,000	50,000
成果指標	トレーニング室利用者数(人)	24,586	24,393	25,661	26,600	26,600

他市との比較検証						
----------	--	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
事業費 ①		24,970	27,629	27,001	28,908	合計	27,001,374 円
財源	特定財源	0	0	0	10	役務費	10,374 円
	一般財源	24,970	27,629	27,001	28,898	委託料	26,991,000 円
職員人件費 ②		0	1,087	1,077	749		
総事業費(①+②)		24,970	28,716	28,078	29,657		
建設事業	全体事業費	0		23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費	0					
	25年度以降の事業費見込	0					

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		課等長名	角岡 重幸
3	1	7		作成者	坂本 恵

PLAN概要 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齢者福祉			
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実			
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	高齢者の健康を増進するため、浴室及びマッサージコーナーを設置するとともに、生きがい活動の一環としてふれあい交流室を利用した各種講座等を開講する。		
				対象者 満60歳以上の刈谷・碧南・安城・知立・高浜市内に居住している人及び高齢者福祉関係団体		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
	根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則				
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成13年度～	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 (健康体操・フォークダンス)		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 (健康体操・フォークダンス)		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 (健康体操・フォークダンス)		各講座開催予定。	

成果 (できたこと)	利用者の健康増進を図ることができ、社会参加の機会を設けることができた。					
課題 (できなかったこと)						

指標名称(単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数(人)	64,390	64,563	59,676	60,000	60,000
成果指標	講座参加者数(人)	104	115	117	100	100

他市との比較検証						
----------	--	--	--	--	--	--

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
財源	事業費 ①	4,404	4,212	4,234	6,526	合計	4,233,805 円
	特定財源	0	0	457	391	賃金	3,308,935 円
	一般財源	4,404	4,212	3,777	6,135	報償費	405,000 円
						需用費	368,670 円
	職員人件費 ②	0	725	718	749	役務費	151,200 円
	総事業費(①+②)	4,404	4,937	4,952	7,275		
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0	行政財産目的外使用料			
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			いきいきプラザ整備事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					課等長名	角岡 重幸	
3	1	7					作成者	清水 景子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	一ツ木福祉センターの施設を整備して、安全で快適な環境を提供し、もって高齢者福祉の増進と利便性の向上を図る。	主たる内容	施設の充実に図るための経費を計上する。 対象者 満60歳以上の刈谷・碧南・安城・知立・高浜市内に居住している人及び高齢者福祉関係団体					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
				・地上デジタル放送対応工事		・国道23号線下駐車場整備			
成果 (できたこと)		施設整備を行い、安全で快適な環境を提供し、高齢者福祉の増進および利用者の利便性を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
成果指標		いきいきプラザ延べ利用者数(人)			57,948	58,192	48,442	50,000	50,000
成果指標		トレーニング室利用者数(人)			24,586	24,393	25,661	26,600	26,600
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		0	263	10,920	0	合計	10,920,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	10,920,000円	
		一般財源	0	263	10,920	0			
	職員人件費②		0	1,087	359	0			
	総事業費(①+②)		0	1,350	11,279	0			
	建設事業	全体事業費		262,500		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		262,500							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			備品等整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					課等長名	角岡 重幸		
3	1	7					作成者	清水 景子		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	高齢者交流プラザ、いきいきプラザ及びぬくもりプラザにおいて、備品を整備することにより、利用者の福祉の向上を図る。			主たる内容	1 高齢者交流プラザ 厨房機器ガス台付きコンロ更新 2 いきいきプラザ ベッド型マッサージ器更新 3 ぬくもりプラザ マッサージチェア更新 対象者 満60歳以上の刈谷・碧南・安城・知立・高浜市内に居住している人及び高齢者福祉関係団体				
	位置づけ	関連計画								
	根拠法令									
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
				・血圧計及び専用架台セット (いきいきプラザ) ・業務用体重計 2台 (高齢者交流プラザ)		・交流高圧電位治療器 6台 (高齢者交流プラザ、いきいきプラザ、ぬくもりプラザ)		・厨房機器ガス台付コンロ (高齢者交流プラザ) ・ベッド型マッサージ器 (いきいきプラザ) ・マッサージチェア (ぬくもりプラザ)		
成果 (できたこと)		備品を充実させることにより、利用者の福祉の向上を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)										
指標名称 (単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		高齢者交流プラザ延べ利用者数 (人)			102,314	105,463	111,329	12,000	12,000	
成果指標		いきいきプラザ延べ利用者数 (人)			57,948	58,192	48,442	50,000	50,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	250	2,560	2,010	合計	2,559,900 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費	2,559,900 円		
		一般財源	0	250	2,560	2,010				
	職員人件費 ②		0	362	718	749				
	総事業費 (①+②)		0	612	3,278	2,759				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								